



# 組み込みワイヤレスコントローラの Flexible NetFlow エクスポート

- [組み込みワイヤレスコントローラの Flexible NetFlow エクスポート \(1 ページ\)](#)
- [フローエクスポートの作成 \(2 ページ\)](#)
- [フローモニターの作成 \(2 ページ\)](#)
- [ワイヤレス WLAN プロファイルポリシーの設定 \(3 ページ\)](#)
- [組み込みワイヤレスコントローラでのフローエクスポートの確認 \(4 ページ\)](#)

## 組み込みワイヤレスコントローラの Flexible NetFlow エクスポート

組み込みワイヤレスコントローラ (EWC) 上の Flexible NetFlow (FnF) エクスポートは、Cisco IOS XE Amsterdam 17.2.1 以降でサポートされています。

NetFlow は、ネットワークを通過するパケットの統計情報を得られる Cisco IOS テクノロジーです。NetFlow は、IP ネットワークから実際の IP データを取得するための標準規格です。NetFlow は、ネットワークとセキュリティの監視、ネットワーク計画、トラフィック分析、および IP アカウンティングをサポートするためのデータを提供します。

Flexible NetFlow は、実際の要件に合わせてトラフィック分析パラメータをカスタマイズする機能を追加することで、以前の NetFlow よりも改善されています。Flexible NetFlow では、トラフィック分析のための非常に複雑な構成を作成したり、再利用可能な構成コンポーネントを使用してデータをエクスポートすることが容易になります。

EWC の FnF エクスポートは、Flex モードでのみサポートされます。

この機能は、EWC の AVC ソリューションの一部です。AVC の詳細については、「Application Visibility and Control」の章を参照してください。

### EWC での AVC 設定の制限事項

- 1 つのローカルエクスポートのみ (EWC の統計コレクタ) サポートされています。

- FnF は、Flex モードの IP タイプおよび方向ごとに 1 つフローモニターのみサポートします。
- UDP トランスポートプロトコルのみサポートしています。
- AVC キャッシュはサポートされていません。
- option コマンドおよび DP 統計に関するコマンドは EWC ではサポートされていません。
- ワイヤレス AVC Basic テンプレートのみサポートしています。
- NetFlow バージョン 9 のみサポートしています。
- IP アドレス 0.0.0.0 は有効な宛先アドレスですが、使用すると、Flexible NetFlow データは破棄され、コレクタによって収集されません。

## フロー エクスポートの作成

次に、EWC でフローエクスポートを作成する手順を示します。

### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<b>configure terminal</b> 例： Device# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	<b>flow exporter flow-export-name</b> 例： Device(config)# flow exporter export-test	フロー エクスポートを作成します。
ステップ 3	<b>description string</b> 例： Device(config-flow-exporter)# <b>description IPv4flow</b>	(任意) 最大 63 文字で、このフローエクスポートの説明を指定します。
ステップ 4	例： Device(config-flow-exporter)# <b>destination 10.0.1.0</b>	

## フロー モニターの作成

NetFlow の設定には、フロー レコード、フロー モニター、およびフロー エクスポートが必要です。この設定は、AVC 全体の設定における最初のステップとして行ってください。

## 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<b>configure terminal</b> 例： Device# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	<b>flow monitor monitor-name</b> 例： Device(config)# flow monitor monitor-test	フロー モニターを作成します。
ステップ 3	<b>exporter exporter-name</b> 例： Device(config-flow-monitor)# exporter export-test	このフローモニターを、定義済みのフローエクスポートにバインドします。
ステップ 4	<b>record wireless avc basic</b> 例： Device(config-flow-monitor)# record wireless avc basic	基本のワイヤレス AVC フローテンプレートを指定します。

## ワイヤレス WLAN プロファイル ポリシーの設定

この設定では、フローモニターまたはエクスポートの構造をワイヤレス WLAN にマッピングすることで、AP が FnF 測定値を収集するようにします。

## 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<b>configure terminal</b> 例： Device# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	<b>wireless profile policy policy-name</b> 例： Device(config)# wireless profile policy default-policy-profile	WLAN ポリシー プロファイルを設定し、ワイヤレス ポリシー コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	<b>shutdown</b> 例： Device(config-wireless-policy)# shutdown	ポリシープロファイルを無効にします。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 4	<b>{ipv4   ipv6} flow monitor <i>monitor-name</i> input</b> 例 : Device(config-wireless-policy)# ipv4 flow monitor monitor-test input	IPv4 または IPv6 入力フローモニターの名前を指定します。
ステップ 5	<b>{ipv4   ipv6} flow monitor <i>monitor-name</i> output</b> 例 : Device(config-wireless-policy)# ipv4 flow monitor monitor-test output	IPv4 または IPv6 出力フローモニターの名前を指定します。
ステップ 6	<b>no shutdown</b> 例 : Device(config-wireless-policy)# no shutdown	ポリシープロファイルを有効にします。

## 組み込みワイヤレスコントローラでのフローエクスポートの確認

組み込みワイヤレスコントローラでフローエクスポートの詳細を表示するには、次のコマンドを使用します。

### show platform software wlavc status cp-exporter

```
show platform software wlavc status cp-exporter
AVC FNF Exporter status
IP: 10.10.1.1
connection statistics
    Sent bytes : 5672
    Sent packets : 569
    Sent records : 240
    Received packets : 800
    Received records : 564
Socket statistics
    New sockets : 3
    Closed sockets : 0
Library statistics AVC
    cache errors : 0
    Unexpected Flow Monitor ID : 0
    Socket creation error : 0
```